

令和6年5月17日

報道関係者各位

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト



「第20回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」開催の件

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、全国各地でマナーキッズ教室を展開しており、累計で国内47都道府県及び台湾、マレーシアにおいて、延べ1,900,000人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童他が参加しております。

マナーキッズプロジェクトは、子供達に、専門家による挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、スポーツマンシップの体得、文武両道で世界に通用する背骨ある人材育成も視野に入れております。また、年々進む子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかけるとともに、運動で知性を育む事をも念頭に置いております。

このプロジェクトの一環として「第20回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」を下記の要領で開催致します。

なお、感染症状況等の社会情勢の変化によっては大会の中止や日程変更、競技方法、感染症拡大予防対策の変更が生じる場合がありますのでご了承下さい。

記

- 1 開催期日：令和6年12月21日（土）低学年対象
9時30分開会式（8時45分受付開始、予定）、
試合終了後低学年表彰式
令和6年12月22日（日）高学年対象
9時15分開会式（8時30分受付開始、予定）、
試合終了後高学年表彰式
- 2 主催：公益社団法人マナーキッズプロジェクト
- 3 後援：スポーツ庁、東京都教育委員会、墨田区、墨田区教育委員会、NHK、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本テニス協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、一般社団法人東京都テニス協会
本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」です。
- 4 協力：公益社団法人日本テニス事業協会 公益社団法人日本プロテニス協会
NPO法人日本シニアテニス連盟 日本女子テニス連盟
- 5 開催場所：東京都墨田区総合体育館

東京都墨田区錦糸 4-15-1 錦糸公園内 電話 03-3623-7273)

電車 JR 総武線、地下鉄半蔵門線錦糸町駅北口より徒歩 3 分

6 参加対象：小学校 1 年生～6 年生、なお、同じ都道府県内の異なる小学校児童とチーム編成が可能です。

7 競技方法：小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPO スポーツ団体・スポーツ少年団別、各学年別・男女別団体対抗戦（特定の学年だけに限定して参加するコート認めます）及び低学年の部、高学年の部団体対抗戦

なお、同一学年でチーム編成が困難な場合は、例えば 2 年生が 3 年生と組んで 3 年生の部としてチーム編成することが可能です。

8 チーム編成：各学年 単 2、複 1（単、複重複出場可）、1 チーム 2 名～6 名。

9 参加チーム数：高学年男子 24 チーム、女子 24 チーム以内（原則）

低学年男子 16 チーム、女子 16 チーム以内（原則）

学年毎の参加申込数が上記チームを越える場合は、同一小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPO スポーツ団体・スポーツ少年団チームを優先の上、抽選により参加チームを決定します。地域、都道府県によっては予選を行う事があります。

なお、2 名以上のチーム編成が困難な場合は、1 人の申込も受け付けます。同じ都道府県で 1 名申込者を紹介しますので、連絡を取り合いチームとして申し込んで下さい。

10 試合に先がけての諸注意

(1) 観客席

- ・団体ごとに席を指定しました。必ず座席を一つ空けて座ってください。
- ・ゴミは持ち帰ってください。

(2) 受付（チーム選手）

- ・体育館来場後、チーム揃って 3F サーブアリーナに設置する受付に挨拶をしてから各自名前を言って自分のゼッケンと参加賞を受け取ってください。

(3) 受付（監督）

- ・チームプラカード、必要書類（オーダー表、OP・ドロー）を受け取ってください。チームプラカードは試合の時にコートで表示するので、各試合時に選手に持たせてコートの審判に渡してください。試合終了後持ち帰り、次の試合まで大切に保管してください。オーダー表には選手名が記載されていて 4 試合分あります。
- ・「写真および動画の WEB ページやパンフレット等への掲載同意書」にチーム監督が署名捺印したものを提出してください。

11 試合方法：

(1) コートサイズ 6.1m×11.88m

(2) ネット 高さは中央部で 83cm、支柱（サイドポスト）で 85cm

(低学年は中央部で 80cm)

- (3) 得点 9点先取(8対8になった場合は次のポイントで勝負を決めます。)、
親善試合(敗者戦)は、7点先取とします。
なお、試合が15分以内で決着がつかない場合は、15分経過時点に
おけるポイント数が多いチームの勝利とします。同点の時はさらに1
ポイント行って勝敗を決めます。
- (4) エンドチェンジ
シングルス、ダブルスともエンドチェンジは行いません。その代わり、チ
ーム同士の挨拶の後、ジャンケンをし、勝ったチームは、どちらのサイド
で試合をするかを選べます。
- (5) サービス
・サービスは相手コートのネットとネットから3.3m離れたサービスライン内
の対角線半分に落とします。(第12回大会に比べて20cm短縮)
・適切な領域内に落とせなかったサービスの場合、2回目のサービスを行え
ますが、これも失敗すればサーバーが得点を失います。
・サービスはベースライン後方から行って、右の場所から左の順になります。
・サービスはオーバーハンドまたはアンダーハンドで行えますが、ボールを
打つ前にバウンドする事は許されません。ただし、1年生のサービスはボー
ルをベースラインの外側で一旦バウンドさせて打つ事ができます。
・サービスしたボールは一度バウンドさせてから打たなくてはなりません。
もし、レシーバーがボールをバウンドしないうちに打つとレシーバーは
失点します。
・サービスはプレーヤー同士2点ごとに交代して行います。
・サービスしたボールがネットにあたって相手のサービスエリアに落ちたな
らば、もう一度サービスを行う事ができます。
- (6) プレー
・サービスを受ける時以外、プレーの間、競技者はボールのバウンドする前
後に打つ事ができます。
- (7) ダブルス
・4人の競技者は順番に2点ごとのサービスを行う時を除いて、全てシング
ルスと同じ規則となります。すなわち、最初の2点をサービスするパート
ナーは5点、6点目にサービスする事になります。
- (8) ゲーム
イ チーム名のプラカード、出場選手にチェックを入れたオーダー表2枚を持参し、
審判に渡して下さい。

「対戦カード」の OP ボードからの引き抜き及び試合後の結果記入・本部提出については、スタッフが行います。

- ロ チーム同士の挨拶を行います。

元気に声を出して挨拶を行います。審判からの「よろしくお願^{ねが}いします」に続いて「よろしくお願^{ねが}いします」と言った後お辞儀で挨拶をします。次に、キャプテン同士がオーダー表をまず審判に確認してもらって下さい。その後、お互い交換（オーダー交換）してから、審判が「小学校名、学年、氏名」を読み上げるので名前を呼ばれた選手はお辞儀をしてください。

次に、対戦選手同士でネットをはさんで審判からの「これから試合を始めます。よろしくお願^{ねが}いします。」に続いてチーム同士「よろしくお願^{ねが}いします。」と言った後、お辞儀をします。次に審判にも同じように「よろしくお願^{ねが}いします。」と言った後、お辞儀で挨拶をします。

その後、ジャンケンを行い、勝ったチームがどちらのサイドで試合をするか選びます。試合中のエンドチェンジは行いません。

- ハ 各試合毎にラケットを回す方式のトスをして、勝った方がサーブかレシーブを選びます。

- ニ 各試合終了後、選手同士で「ありがとうございました」と言った後、お辞儀をして握手をします。

近くに審判がいた場合も同様の要領で「ありがとうございました。」と言った後、お辞儀で挨拶して下さい。その後結果記録用紙に審判がスコアを記入しますので両チームで確認してください。

- ホ チームの対戦が終わりましたら、各チームの選手は全員でコートをはさんで挨拶をします。試合終了後直ちに挨拶が出来るよう選手全員はコート近くで待機しておいて下さい。

- ヘ 全試合終了後、選手全員はコートを挟んで一列に並びます。

審判が「〇〇チームと〇〇チームの対戦は、シングルス〇対〇、ダブルス〇〇対〇〇、計〇〇対〇〇で〇〇チームの勝利となりました」と試合結果を発表します。両キャプテンは、結果記録用紙を見て、再度勝負を確認しサインをして下さい。その後、その場で「ありがとうございました」と言った後、お辞儀をして終了します。

- ト 試合後は一方通行で出口から観客席に戻ります。選手の流れは「観客席」～「控え場所（サーブアリーナ）」～「コート」～「観客席」の一方通行とします。

- チ ラケットについては各自 26 インチのマイラケットを準備してください。

- リ ボールを相手に渡す時は相手がワンバウンドかつウバウンドで受けやすいようにラケットか手で返球して下さい。

- ヌ ボールが他のコート領域に行った場合は、取りに行く必要はありません。

ル 応援はプレーに影響を与えない範囲で行って下さい。試合中のベンチコーチや技術的助言は禁止します。

(9) 審判

セルフジャッジです。低学年は審判（SCU）が各コートに付きます。高学年はロービングアンパイヤ方式ですが、選手から要請があった場合はコートに張り付いて必要な場合はオーバールールします。ロービングアンパイヤは、試合中は何か問題のある時以外は見守るだけです。次の要領で進めて下さい。

- ① 試合開始にあたっては、まず各チーム監督或いは監督代行（保護者可）は事前に選手にチームネームプレートとオーダー表を持たせて自チームを選手控え場所に誘導して下さい。試合コートの前の試合が終わったら OP ボードのスタッフが試合コートに選手を誘導します。審判が挨拶と注意事項の説明（プレマッチミーティング）を行います。その後は選手が自主的に試合を進めます。
- ② 自分のコートに飛んできたボールのセーフ、アウトは自分で判定しアウトの時は大きな声で手を上げて「アウト」と言います。相手はそれを確認して手を上げます。
- ③ サーバーはサーブを打つ前に大きな声でカウントを言う。レシーバーはそのカウントを確認したら手を上げます。サーバーは相手が手を上げるのを確認してからサーブします。
- ④ スコアボードは1ポイント毎に選手もしくは控えの選手がめくります。但し低学年は審判（SCU）がめくります。

各試合終了時、結果記録用紙にスコアを記入し、お互い確認します。

全試合終了したら手を上げて近くの審判を呼び、勝敗を全員で確認してから挨拶をして退場します。

(10) 保護者・監督のマナー

近年、大会期間中の保護者の応援姿勢やマナーが問題になっています。次の事に注意してください。

- ① 相手のミスに拍手しない！
- ② 技術的アドバイスは禁止！
- ③ プレーの妨げや相手選手にプレッシャーを与えるような過度な応援は避ける！
- ④ コートの外の方は、セルフジャッジへの口出しはしない！

等、大人として節度あるマナーを各チーム徹底するようお願いします。

大会各賞選考に保護者・監督のマナーを参考にする事もありますのでご注意ください。

観客席からのビデオ撮影は、可能ですが、ビデオ内容について、セーフ、アウト等ジャッジの判定に使用することはできません。

12 使用球：

プレー&ステイのステージ3のレッドボール。(低学年はヨネックス、高学年はスリクソンステージ3レッド)

13 使用ラケット:

基本的にマイラケットを使用(但し26インチ以下に限定)

大会本部で用意するラケットも使用可。(26インチラケットを用意)

14 順位決定方法:

- 各学年別・男女別、小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団別団体対抗戦

各学年別にトーナメント方式により試合を行い優勝、準優勝、3位チームを決定します。但し、チーム数により、リーグ戦(総当たり)方式とする事があります。

併せて、各学年別・男女別団体対抗戦の成績を次によりポイント換算し、その合計点により、低学年の部(1~3年)、高学年の部(4年~6年)の総合優勝、総合準優勝、総合3位チームを決定します。なお、同点のチームが複数あった場合は、直接対戦で勝ちが多いチーム、勝ち数と同じ或いは、直接対戦が無かった場合は、両チームのエース同士のシングルスを行い、勝者のチームを優勝とします。その他、複雑なケースが起った場合は、大会本部で検討の上、順位を決定する事があります。文部科学大臣賞を交付する者及びその数は次の通りです。

- 賞状: 高学年の部(4年~6年) 総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
- 低学年の部(1年~3年) 総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
- 大臣杯: 高学年の部(4年~6年) 総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
- 低学年の部(1年~3年) 総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム

優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
100	70	50	35	25	18

- 親善試合(コンソレーションの代わり)

トーナメントで1回戦負け、2回戦負け等準決勝戦進出以外のチームについては、7ポイント先取の親善試合を行います。親善試合は基本的に2試合としOPボードにコートを発表します。

15 マナーキッズ大使の選考:

大会参加者(高学年の部)の中から試合結果、マナー、感想文、元デ杯選手の評価、面接により若干名をマナーキッズ大使に選考し、広島県三次市全生山農士塾(田植え、テニス、グループ討議他)に派遣する。

16 参加費: 1人 3,000円。

17 応募方法

参加を希望されるチームは、公益社団法人マナーキッズプロジェクトホームページ「参加したい」をクリック、「第20回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦」参加申込用紙をダウンロード、これに必要事項を入力し、

office365@mannerkids.or.jp までメールで、9月30日（月）必着でお申込み下さい。
なお、メールの件名に都道府県名、チーム名、総勢〇名を必ず明記して下さい。
同じ団体から2チーム以上出場の場合は、その旨お知らせ下さい。
参加申込用紙の文字がプログラムに記載されますので、選手氏名は必ず参加選手本人
に文字を確認して下さい。参加の可否を追って、メールで連絡します。

18 問い合わせ先

公益社団法人マナーキッズプロジェクト「第20回文部科学大臣杯マナーキッズショー
トテニス全国小学生団体戦」事務局

電話 03-3339-6535 080-5470-6951 FAX 03-6426-1580

Email office365@mannerkids.or.jp URL:<http://www.mannerkids.or.jp/>